

# 森林環境教育事業



## 自治体紹介



### 北海道下川町（しもかわちょう）

- 人口約3,000人
- 環境モデル都市、環境未来都市、SDGs未来都市
- 2017年第1回ジャパンSDGsアワード  
SDGs推進本部長賞受賞
- 町民主体でSDGs目標を策定  
(町独自に7つのゴール)



## 背景

### 循環型森林経営（まちづくりの基軸）

- 森林の恵みを余すことなく使う（枝葉も使う）
- 林地残材等は木質バイオマスボイラーの燃料に  
(公共施設の約7割が地域熱供給)
- 化石燃料比による削減効果分は、子育て支援に
- カーボン・オフセット



## 現状の課題

- 子ども達が、森林（自然）に関わる機会や町全体の取組を知る機会が少ない。

# 森林環境教育事業



## 事業の目的

- 身近な自然の学びや楽しみを通じて、人間的な成長を育む。
- 森林を活かす仕事への理解を深める。
- 森林の役割や地域の取組を考え、自ら行動できる人を育む。

## 事業の内容

- 子どもの成長に合わせた15年一貫したプログラムを実施。
- 北欧発祥の「LEAFプログラム」の実践。

	対 象	内 容
認定こども園	3～5才	森のあそび×11回、植樹祭（5才児）
小学校	1年生	お気に入りの木を見つけよう
	2年生	動物のお弁当を作ろう
	3年生	色々な種類の葉っぱを観察しよう
	4年生	森林づくりについて学ぼう「森・川・海のつながり」、植樹祭
	5年生	木材の活用法について学ぼう
	6年生	森林の多面的機能について考えよう
中学校	1年生	下川町の林産業の歴史と現状について知ろう
	2年生	下川町の木である「トドマツ」のPR方法を考え木材の加工や活用方法について考えを深めよう
	3年生	ゼロカーボンから考える下川町のまちづくり、植樹祭
高校	1年生	下川町のSDGsのまちづくり、植樹祭
	2年生	地域の資源を生かし、地域経済やSDGsに貢献するビジネスを考える
	3年生	企画を形にする方法を知ろう



# 森林環境教育事業

## 得られる成果

- 人間的な成長。
- 森林を活かす仕事への理解。
- 森林の役割や地域の取組を考え、自ら行動できる。

森林環境教育記事



【企業の方からの連絡をお待ちしています】

北海道下川町 総務企画課

☎01655-4-2511 (内線232)

✉s-kikaku@town.shimokawa.hokkaido.jp



## 寄付するメリット

### 企業イメージの向上

- 町HPと広報紙に企業名を掲載
- 感謝状の贈呈 (50万円以上)

### CSR活動に貢献

- SDGs
- 環境保全
- 教育

### 下川町との繋がり (一例)

- プラチナ企業の森  
(一定期間、町有林を保有できる)
- 町有林をフィールドとした社員研修
- ワークーション受入

